



## クラフト小径実行委員会よりお知らせ

青森はようやく桜の花が咲き始めました。津軽の人たちは、弘前城の桜を毎年楽しみにしています。桜が終わると菜の花が咲き始め、それから林檎の花が咲き始めます。津軽平野は色とりどりの花々で人々にやすらぎを与えます。

クラフト小径は、今回第七回目 2019年10月5日6日「7thクラフト小径2019」を以って最終回とすることを決定しましたことをお知らせいたします。

クラフト小径は、津軽の秋のクラフトフェアとして国内外から注目されるイベントに成長いたしました。たわわに林檎が実る林檎畑の向こうに岩木山を眺められる、りんごの小径・板柳町中央アップルモールは、秋の1日クラフトフェアを訪れるのに最高のシチュエーションでした。毎年クラフト小径を楽しみにして下さる方々や作家が年々増えていることも実行委員会にとっては喜びでした。

予てよりたくさんの方からのリクエスト「C-Pointもう一度！」の声があり、実行委員会として再考してみることにしました。開催地となる鱒ヶ沢町での歓迎を受け、「Returns 11th C-Point 2020」(仮称)を2020年6月第四土日に開催することになりました。

2001年～2010年「C-Point in Ajigasawa」を開催し、再び同じ場所で開催できることは、思ってもいない事でした。伝説と言われたクラフトフェア C-Point、今まで以上のクオリティにできるのか？不安と期待が入り混じっています。

今年、「7thクラフト小径2019」は、「C-Point2020」へ七色の虹を架けて最終回となります。たわわに実る林檎の小径を散策しながら、全国の作家の作品をみて周る、あのなんとも言えない豊かな気分が味わえるのが最後になると思うと、とても寂しいです。最終回もいつもと変わらず、クラフト小径らしく凜とした又柔らかな空気感を作り出せるよう、実行委員全スタッフが支える覚悟で臨みます。

「クラフト小径」から「表現」ー「感動」ー「繋がる」 新たな思いや発想と出会える場となりますように。

皆様のご理解をいただき、今後も更なるご支援をいただけますよう、実行委員会よりお願い申し上げます。

2019年4月23日

クラフト小径実行委員会 実行委員長 安田修平